

カリキュラム

機構施設名： 静岡職業能力開発促進センター

実施機関名： パナソニックエレクトリックワークス創研株式会社

26-22-12-132-082

A. バックオフィス	132 生成AIの活用
新技術活用	

コースのねらい	生成AIの概要とビジネスの現場における、具体的な活用シーン等について理解し、AIと協働することによる業務の質とスピードを高める技術を習得する。
---------	---

		「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)	日 程	
					月 日	時刻
講 義 内 容	1	生成 A I の概要	(1) 生成AIの概要 ・AIとは？ 生成AIとは？ ・LMとLLM、主要な生成AI ・機械学習、生成AIの学習 ・生成AIができること、不得意なこと ・プロンプティング ≪個人&グループワーク≫ (2) 守るべき倫理、安全性、透明性、責任等 ・セキュリティとプライバシー ・個人情報保護の観点 ・制作物に関わる権利 ・AIの活用に関する社会的な指針、遵守すべきAI社会原則 ・AI新法の概要	2.0	令和9年 1月22日(金)	9:30~16:30 昼休憩 11:45~12:45
	2	生成 A I の活用事例と今後の展望	(1) 生成AI活用事例 ・生成AIの活用領域 ・生成AI事例データベース紹介 ・事例探索 ≪個人&グループワーク≫ (2) 生成AI導入の課題 ・戦略・目的に関する課題 ・業務適合性の課題 ・データ・知識の課題 ・セキュリティ・情報漏洩の課題 ・人材・スキルの課題 ・組織文化・心理的抵抗 ・ガバナンス・責任の課題 ・上記の対応策を検討 ≪個人&グループワーク≫ (3) 多様な業務への応用 ・生成AIの単独使用から既存業務の連携へ ・AIIエージェント、RAG、エージェントAI、MCP ・メール返信文書、議事録、提案書等の自動作成 ≪個人&グループワーク≫	4.0		
				合計時間	6時間	

カリキュラム作成のポイント
下記のポイントでカリキュラムを作成しております。 ①生成AIを初めて使う方、私的には使っている使っているが仕事では使った事が無い方にも理解出来る内容にしております。 ②ご自身の業務でAIに置き換えが出来る領域を、AIの活用事例の紹介、演習を通じて見つかる様に導きます。 ③業務で使用する場合のセキュリティ対策について解説いたします。